

令和6年度 第5回議会改革推進会議次第

日時：令和7年2月17日（月）9:00～
場所：議事堂第3委員会室

1 開 会

2 協議及び報告事項

- (1) 令和6年度議会改革行動計画の進捗状況について
- (2) IT活用検討委員会の取組状況について

3 その他

4 閉 会

<資料>

- ・資料1 令和6年度議会改革に関する行動計画の進捗状況について
- ・資料2 次期更新タブレット端末等の調達方針について

令和6年度議会改革に関する行動計画の進捗状況について

令和7年2月17日現在

行動計画の項目	令和6年度の実施結果・検討結果	今後の方向性
<p>1 議会基本条例に基づく議会運営</p>	<p>○令和6年5月28日（第1回議会改革推進会議）に、議会改革に関する行動計画を策定</p> <p>○富山県議会改革に関する行動計画の実施結果（平成30年度～令和5年度）の振り返り</p>	<p>○これまでの実施結果の振り返り等を踏まえ、引き続き行動計画に基づく取組を実施</p>
<p>2 住民との情報共有の推進</p> <p>(1) 議会広報の充実</p> <p>TOYAMAジャーナルを年1回発行し、多くの県民の目に触れるよう公民館や図書館等の主要施設に配架するほか、議会ホームページに掲載する。</p> <p>また、SNS等を活用したプッシュ型の広告により、議会ホームページやTOYAMAジャーナルのPRを行うほか、WEBでアンケート調査を行い、効果的な情報発信について検討する。</p> <p>このほか、TOYAMAジャーナルの取組を検証するとともに、県の広報媒体との連携強化を検討する。</p>	<p>○令和6年7月に「TOYAMAジャーナル(Vo1.4)」を発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布先…公民館・コミュニティセンター、図書館等 ・配布部数…約18,000部 <p>○「TOYAMAジャーナル」デジタルブックの県議会HPへの掲載</p> <p>○インターネットによる広告配信及びWEBアンケート等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告配信（R6.8.1～10.16） 配信媒体 TikTok、YouTube、日刊オンラインタクトバナー広告 配信実績…表示回数 約115万回 ・アンケート調査（R6.7.12～11.30）回答件数…192件 <p>○TOYAMAジャーナルの取組の検証及び県広報媒体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報編集委員会で、これまでの実績やアンケート調査等で寄せられた意見を基に、今後のあり方を議論 ・TOYAMAジャーナルの発行日に県公式LINEやXでPR <p><参考></p> <p>「TOYAMAジャーナル」が、日本地域情報コンテンツ大賞2024において審査員奨励賞を受賞</p> <p>（令和4年度（WEB部門）、令和5年度（地方創生部門）に続く3年連続受賞）</p>	<p>○高校生や大学生等の若年層をメインターゲットとする方針を継続し、「TOYAMA ジャーナル」を発行、県議会HPに掲載</p> <p>○公民館・コミュニティセンター、図書館、市役所・市町村議会などの主要施設に配架。より広く県民に届けるため、配架先の拡充を検討。</p> <p>○県議会及び「TOYAMA ジャーナル」のPRのため、インターネットの各種媒体を使った広告の配信、県公式SNSを活用した発信</p> <p>○アンケート調査を実施し、次年度の「TOYAMA ジャーナル」の制作へ反映</p>

行動計画の項目	令和6年度の実施結果・検討結果	今後の方向性
<p>(2) ソーシャルメディア利用等による情報発信 より県民に分かりやすい情報発信に向けた議会ホームページの点検や本会議等の録画配信期間の延長を検討する。</p>	<p>○議会ホームページトップ画面の改修 (写真サイズやアイコン配置の見直し等による視認性の向上)</p> <p>○インターネット議会中継の録画配信期間の見直し等 (R6. 11. 1～ 開会年度の翌年度末まで拡大、検索機能の追加)</p>	<p>○HP等を利用した県議会の効果的な情報発信を引き続き検討</p>
<p>3 主権者教育の推進と住民参加の取組 生徒や学生に対する主権者教育を推進するため、全国議長会において作成予定の主権者教育用リーフレットを活用するほか、県内高校生にTOYAMAジャーナルを配布するとともに、県選挙管理委員会が実施している出前授業との連携を検討し、議員による高校等への出前講座や議員との座談会や交流イベント等を実施する。 このほか、委員会の県内視察等に併せて議員と関係者との意見交換等を実施する。</p>	<p>○「TOYAMAジャーナル(Vol. 4)」を県内高等学校に配布 (配布部数…約32,000部)</p> <p>○県選挙管理委員会が実施する出前授業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県選挙管理委員会が作成した選挙結果資料を活用した出前講座の実施 ・令和7年度の実施案内に出前講座、出前授業の内容をお互いに記載し、県内高等学校等に同時発出 ・今後の連携に向け、出前講座、出前授業担当者が、お互いの事業を現地見学 <p>○高等学校等での「出前講座」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人荒井学園高岡向陵高等学校 (R6. 5. 31、3学年6クラス176名、議員12名) ・学校法人高岡第一学園高岡法科大学 (R6. 7. 23、地方自治法履修学生17名、議員4名) ・学校法人片山学園片山学園高等学校 (R6. 11. 13、2学年3クラス67名、議員5名) ・学校法人富山国際学園富山国際大学 (R7. 1. 15、教職実践演習履修学生46名、議員5名) ・学校法人荒井学園高岡向陵高等学校 (R7. 1. 23、2学年8クラス221名、議員18名) <p>○高校生との意見交換会の実施(高校生とやま県議会) (R6. 8. 19、県内高校生徒会代表50名、議員12名)</p>	<p>○引き続き主権者教育用に「TOYAMAジャーナル」を県内全ての高校生に配布</p> <p>○高等学校や大学で「出前講座」や高校生との意見交換会、交流の機会を確保</p> <p>○引き続き県選挙管理委員会が実施している「出前授業」との連携を検討</p> <p>○全国議長会において作成予定の主権者教育用リーフレットについて「TOYAMAジャーナル」への紹介や「出前講座」での活用を検討</p> <p>○引き続き委員会が所管する重要テーマについて県民との意見交換を実施</p>

行動計画の項目	令和6年度の実施結果・検討結果	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ○「富山県青年議会」合同学習会に参加し助言指導 (R6.8.24、青年議員40名、議員5名) ○高校生主体の主権者教育トライアルイベント「Voice of the future」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の様々な課題に対して高校生が対話を通じて考えやアイデアを探求・発表 (R6.10.13、砺波青少年自然の家、私立高校生約100名、議員7名、デンマーク元文化大臣ウッフェ・エルベック氏) ○委員会による意見交換会の実施 (開かれた議会活動の推進) <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの未来対策特別委員会による不登校・ひきこもり当事者及び支援団体との意見交換会の実施 (R6.9.2、当事者等12名、議員15名) ・地方創生産業委員会による T-Startup 企業との意見交換会の実施 (R6.12.5、企業4社、委員8名) ・経営企画委員会による県立大学学生団体 POLYGON 所属学生との意見交換会の実施 (R7.1.20、学生3名、議員10名) 	
<p>4 危機管理対応</p> <p>能登半島地震への対応を踏まえ、議会における災害対応の問題等を検証し、「富山県議会危機管理対応マニュアル」の見直しや備蓄等の充実を検討する。</p> <p>富山県議会議員緊急連絡網(メーリングリスト)の送受信テスト及び避難訓練を継続的に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県議会危機管理対応マニュアルの改正 (安否確認の複線化や情報収集の効率化など) ○「富山県議会議員緊急連絡網(メーリングリスト)」の送受信テストを実施 (R6.9.3) ○「富山県議会危機管理対応マニュアル」に基づき、経営企画委員会において大会議室からの避難訓練を実施 (R6.9.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県議会危機管理対応マニュアルの改正点の周知 ○備蓄品の購入、管理(ローリングストック) ○「議員安否確認メール(メーリングリスト)」の送受信テスト及び避難訓練の継続的な実施

行動計画の項目	令和6年度の実施結果・検討結果	今後の方向性
<p>5 新たな機能強化の取組</p> <p>(1) 議会における IT の活用等 議会資料等のペーパーレス化を推進し、タブレット端末等を活用した議会運営を実施する。 オンライン委員会の実装化に向けた課題を整理するとともに、議員活動や議会運営の高度化・効率化が図れるよう、既存のシステムの課題検証や新たなツールの導入可能性を含めて、引き続き IT の有効活用について検討する。</p>	<p>○IT 活用検討委員会で議会における IT 活用を検討、協議 ・議員活動における生成 AI の利用に関するアンケート調査の実施 ・議会タブレット端末更新(R9.3 未予定)に向けた調達方針を協議(本体、ソフトウェア、周辺機器)</p> <p>○オンライン委員会の開催に係る通信環境や運営上の課題検証のため地方創生産業委員会(第3委員会室)をオンラインで開催(R6.11.25、委員1名がオンライン出席)</p> <p>○請願・陳情のオンライン提出受付(R6.4～ 陳情4件受付 ※11月定例会まで)</p>	<p>○タブレット端末やペーパーレス会議システムの有効活用を図るとともに、議会運営の高度化・効率化に向け引き続き検討</p> <p>○緊急時等に備え、全ての常任委員会でオンライン開会できるよう各委員会室における通信環境及び運営上の課題を引き続き検証</p>
<p>(2) ハラスメントの防止 議会におけるハラスメントの防止のため、研修を継続的に実施するとともに、相談体制の周知に努める。</p>	<p>○ハラスメント防止研修の実施(オンライン研修) (全国都道府県議会議長会配信動画によるオンデマンド研修)</p>	<p>○ハラスメント防止研修の継続的实施</p>
<p>6 その他 標準議会傍聴規則の改正内容を踏まえ、県議会傍聴規則の改正案を検討する。</p>	<p>○県議会傍聴規則の改正(傍聴人の守るべき事項等の内容整理) (令和7年2月定例会から運用予定)</p>	
<p>※上記以外の項目で実施(予定含む)したもの</p>	<p>○県議会会議規則の改正(欠席事由の例示追加等) (令和7年2月定例会に提出予定)</p> <p>○議員研修会等の開催 ・「地方創生に関する研修会」(R6.9.10) ・「日本被団協・富山県被爆者協議会講演会」(R7.2.27 予定)</p>	<p>○地方創生など時宜を得たテーマで研修会等を開催</p>

次期更新に向けたタブレット関連事項（端末本体、ソフトウェア、周辺機器）の調達方針

	項目	現状	更新案	考慮事項 ※空欄は特にアンケートで記載のなかったもの ※数字は、アンケート設問番号
①端末本体	OS	Windows	Windows	
	通信方式	Wi-Fi版	Wi-Fi版	3：議事堂外での持出し利用が少ないため、LTE版の需要は少ない
	画面サイズ	12.3インチ	12インチor13インチ台	1：画面サイズは同等かより大きいもの希望
	重量	約770g	現状と同等かより軽いもの	2：重いと感じる人の割合がやや多い
	端子（種類と数）	USB-A×1、USB-C×1	現状と同等かそれ以上	自由記載欄にDVDプレーヤー希望
	基幹（CPU、メモリ、SSD）	Corei5、8G、128G	現状と同等かそれ以上	
②ソフトウェア	文書作成ソフト	Microsoft365	現状維持	4：文書作成に活用される方の割合が多いため需要あり
	ウイルス対策ソフト	トレンドマイクロ	現状維持	
	ペーパーレス会議システム	SmartDiscussion	現状維持	
③周辺機器	カバー	公費負担・一律貸与（端末とセット）	希望者が個別購入	2：重いと感じる人の割合がやや多い 3：議事堂外での持出し利用が少ないため傷つく場面が少ない。
	キーボード	希望者が個別購入 （政務活動費1：個人負担1）	希望者が個別購入	2：重いと感じる人の割合がやや多い 4：文書作成に活用される方の割合が多いため需要あり
	ポケットWi-Fi	公費負担・希望者に貸出 （事務局で5台用意）	希望者が個別購入	3：議事堂外での持出し利用が少ないためポケットWi-Fiの需要は少ない
	モバイルバッテリー	-	公費負担・希望者に貸出 （事務局で5台用意）	自由記載欄に充電に関する意見が複数あり